

社会科のベストミックス

～「社会科で大切にしたい学び」と「ICTの効果的な活用」～

東濃教育事務所

社会科の学習においては、児童生徒一人一人が問題意識をもち、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理してまとめたりするなどの学習活動が大切です。

その際、ICT 端末を活用してどのような資質・能力が育っているのか、ICT の強みを生かした学びが構想されているかという観点から ICT 端末を効果的に活用することが大切です。



【資質・能力を育成するための ICT の効果的な活用】

情報を収集・選択する力の育成	対話を通して考察する力の育成
<ul style="list-style-type: none"> ○自ら資料等を選択できる仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・共有フォルダ等に問題解決に活用する資料等を保存しておき、児童生徒がいつでもアクセスできるようにする ・家庭学習や既習の情報 ○多様な種類の資料を活用する機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて ICT 端末とノートの使い分け ○情報の読み取り方を順序立てて確認 <ul style="list-style-type: none"> ・「年表を読み取る時は…」 ・「一緒に確かめるよ、まず…次に…」 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習過程における対話の在り方の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・全体交流は本当に必要か ・ICT を活用した交流の目的は何か ○相手の考えを取り入れて課題解決 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 端末に仲間の考えをメモ ○聞き手の理解を確認しながら説明 <ul style="list-style-type: none"> ・○○を見てください ・～わかりますよね ○単元で学んだことを協働的にまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共同編集、付箋機能で付け足し
<ul style="list-style-type: none"> ○視覚的に事実を比較・関連・総合する <ul style="list-style-type: none"> ・資料を並べて共通点などの気付きを入力 ・情報を分類しキーワード化する ○思考ツールを用いて思考を可視化 <ul style="list-style-type: none"> ・学び方の定着状況を見極め、児童生徒が自分で思考ツールの視点を考えたり、用いるツールを選択したりする ・ロジックツリーで論理的思考 ・ピラミッドストラクチャーで批判的思考 ○ワークシートやスライドで既習内容整理 <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を俯瞰してとらえる活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決の見通しをもつ <ul style="list-style-type: none"> ・何を調べればよいか ・どこに行けば解決のきっかけがつかめるのか ・ウェビングマップ、付箋機能 ○単位時間あたりの学習成果を保存 <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロソフトでワークシートに入力 ・学習ノートを撮影、保存 ○ルーブリック評価の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共有した評価項目でアンケート